

【特別支援学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立中原特別支援学校(本校)
-----	------------------

1 前年度 評価結果の概要	○学習指導では、グループでの検討会やICT機器の活用等、授業改善に向けた取組、生活指導では、「豊かな心」を育むための児童生徒集會や職員研修の充実により、一定の成果を上げることができた。 ○令和7年度より、知的障害課程に「自立活動の時間における指導」を設定することから、自立活動計画を基に児童生徒の強みを生かした自立活動の指導の充実を図る。 ○進路指導については、系統的・発展的な体験学習や就業・施設体験の実施により、児童生徒の進路意識が向上していることから、引き続き個別最適な進路指導に努めるとともに、児童生徒の自己肯定感を高める工夫を図る。 ○特別支援教育のセンター的機能の充実については、地域のニーズに合わせて、関係機関と連携した巡回指導や研修会を実施することはできたが、本校の取組について保護者への理解啓発を図り、より開かれた学校づくりに努める。
------------------	---

2 学校教育目標	一人一人に応じた指導・支援をととして、児童生徒がもっている能力や可能性を最大限に伸ばし、明るくすこやかで豊かな心をもち、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。
----------	--

3 本年度の重点目標	「児童生徒の豊かな生活と成長の保障」 ①専門性の更なる向上と、児童生徒の自立と社会参加を目指した教育活動への反映 ②一人一人の可能性を伸ばす進路指導の実現 ③地域に開かれた特別支援教育のセンター的機能の充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○児童生徒の実態把握と学習指導要領の各教科等の学習状況を踏まえて学習内容の設定を行い、学力の定着につながる授業ができたと回答する職員が80%以上 ○児童生徒の実態に応じた指導・支援により、学んだことが身に付いていると回答する保護者が80%以上	・個別の指導計画の作成を通して、児童生徒の実態を把握し、学習指導要領の各教科等の内容と「学びの履歴」を踏まえて学習内容の設定を行う。 ・学年や学習グループでの個別の指導計画の検討と評価を継続して行い、PDCAサイクルを通して授業改善につなげるとともに、教科会で教科の評価に関する検討を行う。		・		・		・	教務部
	○将来の自立と社会参加に向けた進路指導及び一人一人の可能性を伸ばす進路学習の充実	○「児童生徒の自立や社会参加を意識した授業作りや授業改善など工夫できた」と回答する職員が80%以上 ○「児童生徒の実態や希望、ニーズに応じた進路指導、進路学習ができている」と回答する保護者が80%以上	・地域との連携や動向を意識した進路研修を年3回実施する。 ・各関係機関、福祉制度等の情報を月1回以上提供する。 ・児童生徒、保護者の希望やニーズを把握した授業や研修、進路見学、就業施設体験を実施する。		・		・		・	進路指導部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学習や児童生徒会の活動、行事等の各学習において「思いやりや豊かな心」を育む指導を心がけたと回答する職員が80%以上 ○「思いやりや豊かな心」を育むために、学校生活が役に立っていると回答する保護者が80%以上	・全課程全学年の児童生徒に「平等、尊重」の心を育む児童生徒会活動や集会を実施する。 ・人権・同和教育研修会を実施する。		・		・		・	生活指導部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの未然防止、早期発見と対応に向け、職員の共通理解ができていると回答する職員が80%以上 ○日常の連絡、面談、調査等で、児童生徒の生活状況を学校(担当)と共通理解できていると回答する保護者が80%以上	・学校基本方針の共通理解と周知徹底のための職員研修を実施する。 ・職員アンケートを月1回、保護者アンケートを学期1回実施する。		・		・		・	生活指導部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童生徒が80%以上 ●「将来の夢や目標を持てるように一人一人に応じた指導・支援を行っている」と回答する職員が80%以上	・「わかる」「できる」の授業実践を通して、スモールステップでの目標を設定し、児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、「わかったこと」「できたこと」を認め、褒める。 ・小・中・高と連携した体験的な学習活動や進路学習、就業・施設体験を実施する。 ・児童生徒の実態や状況に応じた、支援体制、相談体制の充実及び授業改善を行う。		・		・		・	教務部 進路指導部
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○早寝・早起きをし、毎朝朝食を食べていると回答する児童生徒が80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒が80%以上	・食育講話を実施することで、朝食の大切さや食への関心を高める。 ・給食試食会を実施する。 ・食育だよりや保健だよりには食育に関する情報を掲載し、プリントでの配布やホームページにもアップする。		・		・		・	保健厚生部
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○各職員及び分掌部の専門性や知見を地域支援に活かす。本校は地域の特別支援教育のセンター校の役割を十分に果たしていると回答する職員が80%以上 ○研修会の内容や巡回相談の活用について適宜評価する。巡回相談における支援・助言により、状況が改善したと考える学校が80%以上	・地域の要請に応じて、校内の分掌部及び、専門家チーム、地域のアドバイザー、特別支援教育エリアリーダー等、各関係機関と連携しながら巡回相談を実施する。 ・地域支援組織表を作成し、各分掌部会や職員会議でセンター的機能の役割を周知し、年度末には取組についての評価を行う。HPでは本校のセンター的な取り組みについて紹介する。 ・研修会の後にアンケートを行い、研修会や巡回相談についての地域のニーズを把握し、分析活用する。		・		・		・	地域支援部
	○地域の人々と活動を共にする交流及び共同学習の積極的な推進	○地域の学校・行政・地域各種団体等と連携し、計画した地域交流・居住地校交流の実施が80%以上	・地域各種団体と合同による年2回のふれあい活動を実施する。 ・居住地校交流を実施する。 ・地域の団体との昔遊び交流会を実施する。 ・地域高等学校との交流演奏会を実施する。		・		・		・	総務部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守することで、「遵守できた」と回答する職員が80%以上 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○昨年度よりも業務の効率化が図られていると回答する職員が80%以上	・年間12回以上の「完全定時退勤日」、毎週金曜日に「ノー会議デー・定時退勤日」を設定し、堅実な実施を図る。 ・半期(4月～9月、10月～3月)で7日間以上の年次休暇を取得できるよう、計画的で効率的な業務の遂行を促す。 ・研修等のオンデマンド化、アンケートや提出物、会議資料のデジタル化等によって、会議時間の短縮や会議内容の精選を行う。 ・時間外在校等時間が月45時間を超える職員には管理職による面談を実施し、業務の見直し等について助言を行う。		・		・		・	管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○自立活動の推進	○児童生徒の強みや興味・関心を生かした自立活動の指導の授業実践	○個々の児童生徒の特性を考慮し、強みや興味・関心を生かした授業実践 ができたと回答する職員が70%以上 ○自立活動の指導を通して、児童生徒の生活面や学習面での良い変化が表 れはじめたと感じる職員が60%以上	○自立活動指導計画作成に係るサポート ○自立活動の指導に係る研修会・相談会の実施 ○授業実践に関する情報提供、相談の受付		・		・		・	自立活動部
○教育DXの推進	○教育活動におけるICT等の機器活用 ○校務における生成AIの活用	○ICT機器等を用いて、児童生徒の教科等の学習の理解を高めたり、児童生 徒が学習等に取り組める環境をつくり出すことができたと回答する職員、 保護者が70%以上 ○生成AIを校務に活用できたと回答する職員が70%以上	○ICT活用に係る職員研修の実施、ヘルプデスク(現地員)との連携、校務分 掌担当者によるサポート ○生成AI活用に係る職員研修の実施		・		・		・	ICT教育支援部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------